



株式会社常磐植物化学研究所 サステナビリティレポート2021



Tokiwa Phytochemical Sustainability Report 2021



Contents

- 03 トップメッセージ
- 04 経営理念、行動規範
- 05 サステナビリティ基本理念、推進体制

2020年度サステナビリティ トピックス

- 07 地域未来牽引企業、千葉県男女参画推進事業所表彰、ホームページ全面リニューアル
- 08 事業継続力強化計画、BCP宣言

常磐植物化学研究所製品が貢献するSDGs

- 09 植物のちからを健康に。
- 10 常磐植物化学研究所の製品利用

教育への取り組み

- 11 高校生向け実験講座、小学生向けハーブ園見学
- 12 大学生向けオンライン講義、専門学生向けハーブ園見学、PHPの寄贈

「植物化学発展」のための取り組み

- 13 新型コロナウイルスに対する *in vitro* スクリーニング、黒ウコン由来成分PURESIRTMAX[®] (KPMF-8) による長寿遺伝子産物 SIRT1 の活性化
- 14 研究機関・大学との共同研究、自社研究報告、植物化学に関連する学会、研究会への参画・寄付・協賛、植物化学に関連する各種加盟団体

Contents

社会への取り組み

- 15 マスクの寄付、防災訓練、日本橋薬祖神への奉納、
地域消防団への参加、薬用ハーブ辞典
- 16 佐倉ハーブ園

環境への取り組み

- 17 エコアクション21（EA21）、環境経営方針
- 18 EA21 登録事業所の概要
- 19 EA21 環境経営組織図及び実施体制
- 20 EA21 2020年度の環境活動内容
- 22 EA21 環境活動の取組計画と評価
- 26 EA21 2021年度 環境活動計画
- 27 EA21 環境活動取り組み例

健康経営への取り組み

- 29 健康経営宣言
- 30 健康経営サプリメント™の導入、健康な職場づくり宣言、
新型コロナウイルス感染予防対策、
がん対策推進企業アクション

働きやすい職場づくり

- 31 ワークライフバランス、女性の活躍支援
- 32 キャリア支援、経営理念研修、人と人との繋がる職場づくり、
社員旅行、タイムカプセル制作

労働安全・衛生への取り組み

- 33 安全衛生スローガン、労働安全衛生指針
- 34 労働安全・衛生への取り組み、自主的な安全衛生管理の向上、
健康の保持促進と快適な職場環境の形成、
資格取得促進法令順守

トップメッセージ



～～持続可能な発展を目指して～～

常磐植物化学研究所のサステナビリティレポート2021をご覧ください、誠にありがとうございます。

人と植物を繋ぐ重要な役割を担っているのが、植物化学成分（ファイトケミカルズ）です。そして、植物のちからを引き出し、新たな価値を創造し、人々の健康と豊かな暮らしに役立てていくことが、私たち、常磐植物化学研究所の使命です。そして、“植物に生かされている”ことに感謝し、人と植物が共存共栄できる社会を実現に貢献していくことが、サステナブルな社会の発展であると考えています。

2008年に環境経営システム導入来、2009年から社会・環境報告書、2014年からCSR Reportとして、10年間に渡り、社会・環境活動を報告を行い、2020年からESGやSDGsの指針を事業活動に取り入れ、サステナビリティレポートとして、本報告書の名称を改めました。

2021年度より、サステナビリティ基本理念、環境経営方針に加え、行動規範、BCP（事業継続計画）指針、健康経営宣言、安全衛生方針を、本報告書に記載し、本社と社員の考え方を明示しております。

今後もサステナビリティを常に意識し、事業活動を通じて、植物化学と地域社会の発展に貢献していきたいと思っております。

株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

設立趣意書

本社は薬学博士松尾仁氏を中心とする研究陣の豫ねて理想とする植物化学の成果の医薬的応用により、社会公衆の福祉増進に寄与することを念願として設立するものである。したがって本社の事業は単に営利のみを目的とせず、一半の力を植物化学の発達にも投ぜんとするものである。若し之に依って祖国再建の礎石の一半を荷うこととなれば、本社設立の趣旨は達成されたに近い。

昭和二十四年八月
株式会社常磐植物化学研究所 設立発起人

経営理念

私たちは、
植物のちからを引き出し、新たな価値を創造します。
最高の技術で、最高の製品を製造します。
社員の幸福と、社会の発展に貢献します。
そして、植物に感謝し、生かされる会社になります。

行動規範

私たちは、『経営理念』と、以下に定める『行動規範』を遵守します。
そして、地域、社会の未来を牽引できる倫理観を持ち続け、社会的責任を果たします。

1. 人間として正しい行動をします。
2. 人の命と健康、人権、文化、宗教を尊重します。
3. 学び、成長の機会を生涯持ち続けます。
4. 事業継続力(BCP、SDGs)*を高めめます。
5. 薬事に関する法令遵守の体制を構築します。
6. 法令を遵守します。
7. 個人・機密情報を守り、正確に情報発信します。
8. 反社会的勢力との関係を排除します。

*)BCP：事業継続力強化計画、SDGs：持続可能な開発目標

社長、役員、部門長は、本規範を率先垂範し、従業員の間人間力向上に努めます。

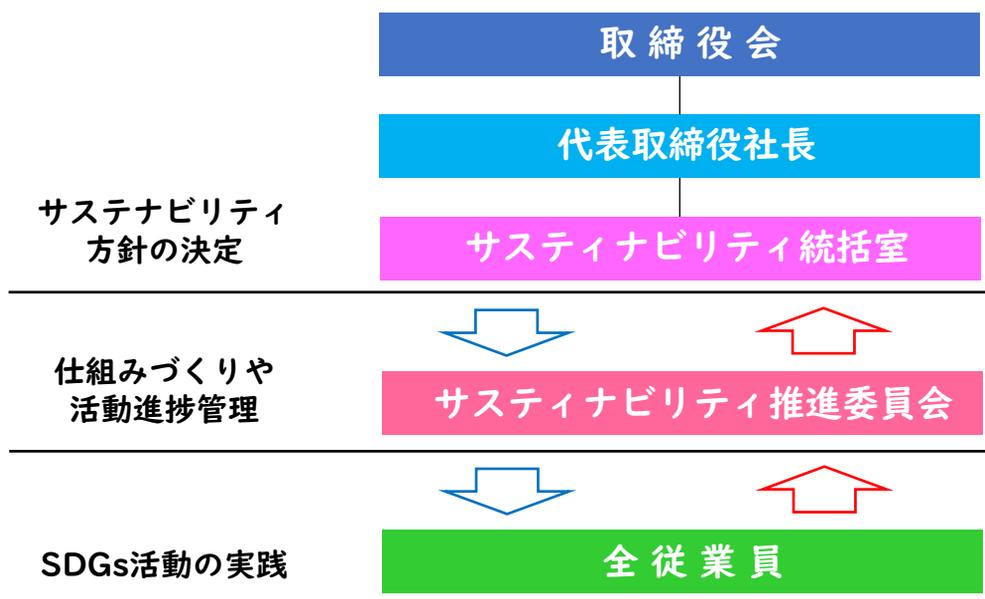
サステナビリティ基本理念

植物のちからを引き出し、新たな価値を創造し、
人々の健康的な暮らしと社会の発展に貢献します。
植物資源の調達から、植物化学研究、製品化まで、地球環境、
社会への影響を重視し、持続可能な開発を目指します。
また、薬用植物の栽培や次世代への教育を通じて、
植物への感謝を示し、人と植物の明るい未来づくりに貢献します。

常磐植物化学研究所のSDGs推進体制

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」にて全会一致で採択された2030年までの新たな「持続可能な開発目標」で、17の目標と169のターゲットから構成されています。

常磐植物化学研究所は、2020年度より新たにサステナビリティ統括室を設立しました。様々な事業・CSR活動を通してSDGsの実現に貢献していきます。

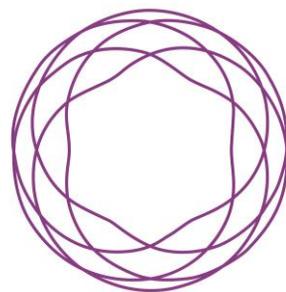


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティトピックス

“地域未来牽引企業”に選定



地域未来牽引企業

2020年10月に、“地域未来牽引企業”に選定されました。地域未来牽引企業とは、経済産業省が『地域経済の中心的な担い手となりうる事業者』として選定する企業です。その名前のごとく、これからも地域の未来を明るく導いて行けるよう、頑張っております。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/chiiki_kenin_kigyou/index.html

“千葉県男女共同参画推進事業所表彰 奨励賞”を受賞



2021年1月に、“千葉県男女共同参画推進事業所表彰”の奨励賞を受賞しました。

男女共同参画推進事業所とは、女性の登用・職域拡大や仕事と生活の両立支援に積極的に取り組んでいる事業所のことです。当社の積極的な女性社員雇用や子供のいる女性社員への時短勤務の推奨、育児休暇取得者の高い復帰率が評価され、賞をいただくことができました。

これからも、女性の働きやすい環境づくりに努めて参ります。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/dankyou/hyoushou/r2.html>



ホームページ全面リニューアル



2020年10月に、当社ホームページを全面的にリニューアルしました。今回のリニューアルにて、スマートフォンにおいても閲覧しやすいレスポンス対応を行いました。また、製品情報・受託事業・研究情報などのほか、新たにSDGsに関するページを追加するなど、より充実した内容といたしました。本サステナビリティレポートも閲覧可能です。

ご覧いただく皆様にとって見やすい・探しやすい・わかりやすいホームページとなるよう、今後も最新情報を積極的に発信して参ります。

↓常磐植物化学研究所ホームページ↓

<https://www.tokiwapl.co.jp/>



“事業継続力強化計画”の認定



2021年3月に、“事業継続力強化計画”の認定を受けました。事業継続力強化計画とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。当社では独自のBCP宣言（下記）を策定しており、有事の際には宣言に従い行動します。今後も防災・減災対策を促進していき、事業継続力強化に精進して参ります。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

<https://www.chusho.meti.go.jp/.../bousai/keizokuryoku.htm>



BCP宣言

私たちは、あらゆる天災、人災等のリスクに対し、5つの方針を守ります。そして、BCPの策定と継続的な見直しの実施を宣言します。

1. 自然・社会・日常への感謝

私たちが日々平穏に生きていられるのは当たり前ではないことを意識し、自然・社会・日常へ常に感謝します。

2. 従業員の命と暮らし

天災、人災等のリスクが発生した際には、何よりも常磐植物化学研究所で働く従業員とご家族の命、安全、そして暮らしを守ることを最優先に行動します。

3. 信用と信頼

事業を継続・早期回復し、あらゆるステークホルダーからの信用・信頼を守ります。

4. 透明性のある情報開示

社内外における情報収集を徹底し、必要な情報を迅速に開示・提供します。

5. 地域、社会への支援

困っている人の立場に立ち、地域・社会との協調・連携、復旧・復興支援などを通じて、社会貢献に努めます。

制定年月日：2021年3月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

常磐植物化学研究所の製品が貢献するSDGs

植物のちからを健康に。



常磐植物化学研究所では、植物成分（ファイトケミカル）を抽出・精製し、医薬品や化粧品、機能性表示食品などに配合される原料を製造しています。

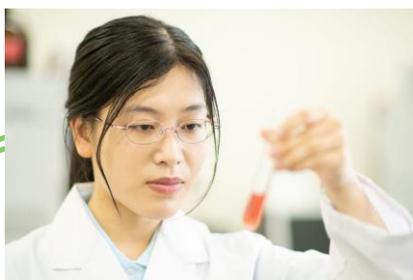
当社の名前が消費者の皆様の日や耳に入ることはないかもしれませんが、当社製品は陰ながら、人々の健康に貢献しています。

近年は機能性表示食品制度に対応した素材開発に注力しており、当社原料を配合した機能性表示食品は、累計100商品を超える受理実績があります。

※機能性表示食品制度：

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品です。販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたものです。

研究開発



品質管理



技術開発



製造



常磐植物化学研究所の製品利用



機能性表示食品対応素材 10製品

アイケア ビルベリー BILBERON® ・ビルベリー 冷凍果実 	記憶力維持 イチョウ GINKGOLON 	睡眠の質向上 ラフマ VENETRON® 	体温維持 ショウガ Ginger warmer™ NEW!	空腹時血糖値 パナバ コロソリン酸 NEW!
肌の潤い 米 グルコシルセラミド NEW!	アイケア マリーゴールド ルテイン NEW!	骨の成分維持 大豆 ISOMAX NEW!	脂肪減少 緑茶 ティアカロン NEW!	血糖改善 黒ウコン SIRTMAX

教育への取り組み



常磐植物化学研究所は実験講座、体験実習を通じて科学が身近にあることを体感してもらい、次世代の科学技術系人材の育成の貢献に取り組んでいます。

戦後初の植物化学企業として、製品の販売だけでなく、科学発展の一助になればと考えています。

子どもが科学技術に親しみ、学ぶことができる環境や科学技術に才能を有する子どもを見出し伸ばすことができる環境を提供するため、理数学習の充実に努めています。

高校生向け実験講座の開催



2020年12月8日に、千葉県立佐倉高等学校にて実験講座“佐倉アカデミア”を開催しました。

2012年から行っているこの佐倉アカデミアは、今回で第9回目。

コロナ禍の今回は、例年とは異なり、高校へ出張するスタイルでの開催となりました。

実験テーマは「植物成分の精製をして、その結果から植物の同定をする」。

薄層クロマトグラフィーを用いて、用意された溶液が何の抽出液なのか、標準品を手掛かりに考察してもらいました。

実験の待ち時間には工場やハーブ園についてスライドで紹介しました。

生徒の皆さんはみな、講義や考察は真剣に、実験は楽しそうに行っていました。

今回の実験で一人でも多くの生徒さんに科学の楽しさ、植物の面白さを感じてもらえたらと思います。



小学生向け佐倉ハーブ園見学の開催



2020年11月18日に、佐倉市立根郷小学校の3年生と先生方計42名が、校外学習の一環として佐倉ハーブ園に来園されました。

学校や公園などでは見る・触れることのないような植物・ハーブを、キラキラした目で楽しそうに触ったり食べてみたり。

クイズも出題し、正解した児童にはハーブティのご褒美！正解できなかった児童にも、植物の種をプレゼントしました。

とても楽しんでもらえたようで、「また来たい！」と言ってもらえました。

コロナ禍で活動が制限されている中で、この日が初めての校外学習。児童の皆さんの心に残る日になれば、私たちも嬉しいです。



大学生向けオンライン講義①



2020年11月16日に、東京情報大学のオンライン講義「地域再生システム論」にて、当社社長の立崎が講演しました。「植物のちからを健康に。機能性表示食品開発からみる素材開発ビジネスの魅力」と題した講演の中で、企業としてのSDGsへの取り組みを交え、当社事業の紹介をしました。さらに、立崎のこれまでの人生を踏まえた上で、コロナ禍を生きる学生の皆さんにエールを送りました。オンラインでの講義でしたが、終了後にはたくさんの感想・質問をいただき、学生の皆さんが熱心に聴講してくれたことを実感しました。



大学生向けオンライン講義②



2020年11月6日に、東京農業大学 応用生物科学部（約50名）の学生を対象に、当社の品質保証室の社員が講師となり、HACCP管理についての事業所実習を行いました。コロナ禍で満足な授業を行うのが難しい中、少しでも学生の皆さんの学びの機会になればと思います。



専門学生向け佐倉ハーブ園見学



2020年7月14日に、千葉県立農業大学校の一年生57名と先生2名が佐倉ハーブ園に来園されました。ビデオやスライドでの会社説明のあと、ハーブ園を見学いただきました。朝から雨模様でしたが、ちょうど見学の時間帯は雨が上がり、ハーブ園のあちこちを散策・見学していただくことができました。まだ一年生のため大学では座学が中心とのことで、実際のハーブの色や香り、味などを、とても興味深げに体感していました。



PHPの寄贈



PHPを千葉県内の学校100校に寄贈しました。PHPとは、松下幸之助さんが世の中の繁栄・平和・幸福を願って創刊した月刊誌です。人生を明るく前向きに生きるための「人生の応援誌」として、教育施設や医療関係施設で設置されるなど、様々な場面で活用されています。PHPの言葉が、辛く先の見えない見知らぬ誰かにとって「蜘蛛の糸」となれば嬉しいです。



「植物化学発展」のための取り組み

常磐植物化学研究所は植物化学の発展への貢献活動の一環として、関連する学会、機関、大学等への参画、協賛、共同研究等を行っています。

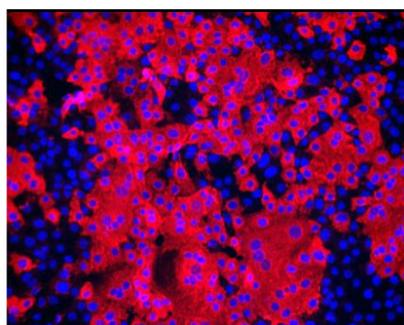
新型コロナウイルスに対する *in vitro* スクリーニング



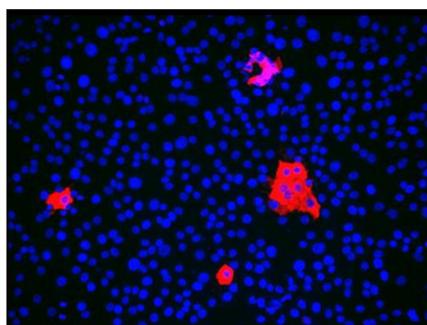
横浜市立大学医学部微生物学教室の梁明秀教授と共同で、当社が保有する植物資源ライブラリー《植物エキス・植物由来成分》を用いた新型コロナウイルス (SARS CoV 2) に対する細胞試験を実施しました。その結果、植物エキス8種、植物由来成分4種について、SARS CoV 2 に対する (感染) 阻害活性が見出され、これらに関する特許出願を完了しました。

植物資源ライブラリーは、未知の病原に対して高い確率で有効性が示唆されており、治療困難な疾病に有効な研究手段になり得ると言われています。

※研究・医療現場の混乱を防ぐため、本件に関する詳細は一定の研究成果が得られた段階での公表を予定しています。



細胞に新型コロナウイルスのみを添加



細胞に新型コロナウイルスと植物由来成分を添加

※新型コロナウイルスのNタンパク質に対する抗体を用いた免疫染色
※写真中、赤く染色された部分が新型コロナウイルスに感染した細胞

黒ウコン由来成分PURESIRTMAX® (KPMF-8) による長寿遺伝子産物 SIRT1 の活性化



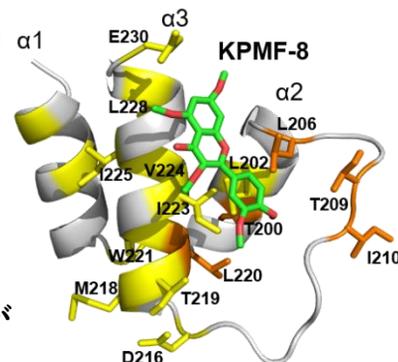
当社は東京大学大学院農学生命科学研究科の永田宏次教授との共同研究で、黒ウコン (*Kaempferia parviflora*) 由来の成分ケルセチン 3,5,7,3',4'-ペンタメチルエーテル(略称: KPMF-8、当社製品名: PURESIRTMAX® ※)が、健康寿命の伸長に関わる長寿遺伝子から作り出されるSIRT1酵素を直接活性化することを初めて実証しました。

※PURESIRTMAX®とは、当社製品黒ウコン抽出物「SIRTMAX®」の規格成分である3,5,7,3',4'-Pentamethoxyflavone (ケルセチン 3,5,7,3',4'-ペンタメチルエーテル) の純度を高めた研究用試薬です。

この活性化効果はレスベラトロールよりも約6倍高く、また、KPMF-8が細胞膜を透過して、細胞内のSIRT1酵素を直接活性化することを初めて示しました。

また、本研究論文は、権威ある学術雑誌のひとつ「Nature」の姉妹紙「Communications Biology」に掲載されました。

本研究の成果は、食品成分の摂取によってSIRT1酵素を活性化できることを示唆するものであり、健康寿命の伸長に貢献できる可能性があります。



KPMF-8のSIRT1酵素への結合モデル

研究機関、大学との共同研究



- (研究機関) 国立医薬品食品衛生研究所、国立医療長寿健康センター、富山県薬事研究所、東京都医学研究所
- (大学等) 東京大学、横浜市立大学、大阪大学、京都大学、北里大学、星薬科大学、北海道医療大学、東京医科歯科大学、学習院大学、麻布大学、和洋女子大学、武庫川女子大学、日本大学 等

自社研究報告



- Effect of Ephedra Herb on Erlotinib Resistance in c-Met-Overexpressing Non-Small-Cell Lung Cancer Cell Line, H1993, through Promotion of Endocytosis and Degradation of c-Met
- 抗疲労・抗ストレス・睡眠改善食品の開発～ラフマ葉抽出物「ベネトロン®」～
- EFEの単回及び2回投与による鎮痛作用の比較とEFEの活性成分の探索
- 睡眠改善素材「ベネトロン®」の研究動向
- 黒ウコン由来ポリメトキシフラボノイド PURESIRTMAX® による抗加齢研究発展の可能性
- 皮膚線維芽細胞のI型コラーゲン線維形成を促進させる生薬成分の探索
- 健康長寿社会の実現へ向けた黒ウコン抽出物SIRTMAX®と黒ウコン由来成分PURESIRTMAX®の可能性
- Determination of Absolute Purities of Hygroscopic Substances by Quantitative NMR Analysis for the Standardization of Quantitative Reagents in the Japanese Pharmacopoeia (Part 2)
- Allylic Hydroxylation Activity Is a Source of Saponin Chemodiversity in the Genus Glycyrrhiza
- EFE配合麻杏薤甘湯去麻黄エキスの鎮痛作用の解析
- エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス配合漢方薬の品質管理における指標成分の検討
- Quercetin 3,5,7,3',4'-pentamethyl ether from *Kaempferia parviflora* directly and effectively activates human SIRT1
- COX-2の酵素活性に対する麻黄エキス、EFE、エフェドリンアルカロイドの阻害作用の解析
- 麻黄に含まれるエフェドリンアルカロイドの睡眠及び運動機能に対する作用の解析

植物化学に関連する学会、研究会への参画・寄付・協賛



日本学術振興会、植物化学研究会、日本生薬学会、日本薬史学会、日本薬学会、日本抗加齢医学会、日本農芸化学会、日本未病学会、日本フードファクター学会、薬用植物栽培研究会、和漢医薬学会

植物化学に関連する各種加盟団体



(公社) 東京生薬協会、(公社) 東京医薬品工業協会、日本漢方生薬製剤協会、日本医薬品原薬工業会、(一社) 千葉県製薬協会、(一社) 日本食品添加物協会、(公財) 日本健康・栄養食品協会、(一社) 日本栄養評議会、(一社) 日本健康食品規格協会、化粧品原料協会、甘草工業懇話会、ステビア工業会、(一社) 日本ブルーベリー協会、千葉県食品産業協議会、(一社) 健康産業協議会

社会への取り組み



当社は、美化活動や佐倉ハーブ園の開放などの取り組みを通じ、地域・社会への貢献を推進しています。

マスクの寄付

新型コロナウイルスに対する取り組みの一つとして、保育園や病院、福祉施設などに、マスクを寄付しました。当社社員が働く上で重要な施設（子供を預ける保育園や学童保育、ご家族が勤務する医療機関など）や、地域貢献の気持ちを込めて本社のある佐倉市の社会福祉法人や福祉施設に、当社が備蓄しているマスクをメッセージを添えて寄付しました。たくさんのお喜びの声をいただけて、当社としても嬉しい気持ちです。



防災訓練

本社では年1回、全員参加の防災訓練を行っています。2020年年度も12月29日に行いました。社員一同、実際に訓練用消火器を操作して、取り扱い方法を再確認しました。



日本橋薬祖神への奉納

10月16日に日本橋の薬祖神で薬祖神祭が行われ、薬への感謝と、一年の無病息災をお祈りしてきました。今後も、歴史ある日本橋の薬祖神社の発展に協力して参ります。



地域消防団への参加

佐倉市消防団第4分団に参加しています。佐倉市の防災訓練に参加すると共に、歳末警戒活動などを通じて、火災予防を呼びかけています。



薬用ハーブ辞典

佐倉ハーブ園ホームページ内の「薬用ハーブ辞典」では、29種類の西洋ハーブや東洋ハーブについて、学名、成分、生理活性等の情報を提供しています。植物成分に関する情報の発信を通じた薬用植物の有効利用へ、今後も内容を充実させていきます。→詳しくは「佐倉ハーブ園」で検索ください。



佐倉ハーブ園



本社工場に隣接した場所に“佐倉ハーブ園”を開園し、誰でも気軽に立ち寄れるよう、無料開放しています。

約5000m²の広い敷地に、1000種類以上の薬用植物や生活に役立つハーブなどを揃えています。

四季折々、触れて、見て、薫って、味わって、五感で楽しめます。

毎月1回、ボランティアの皆様とともにハーブ園を整備する日を設け、様々なハーブの植え付けや収穫、切り戻し、株上げなどを行っています。ボランティアの方はみな、楽しみながら取り組んでいただいています。

佐倉ハーブ園は1996年に開園し、2021年で25周年です。今後も皆様を楽しめる憩いの場になるよう、整備を進めて参ります。



佐倉ハーブ園
sakura herb garden

▼HP▼ ▼facebook▼



▲上から見た佐倉ハーブ園▲



▲色とりどりのハーブ▲

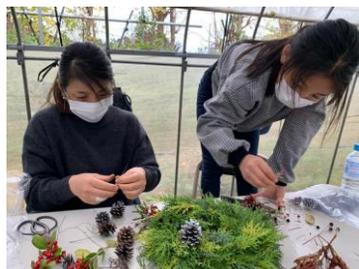


▲ボランティアの皆様と▲

常磐植物化学研究所の社員も、5S活動の一環で“植物に感謝しよう！プロジェクト”として佐倉ハーブ園の草取りを有志を募り行いました。根まできれいに取るのはなかなか難しいもので、皆さん苦戦をしていましたが、雑草がなくなり、キレイになったところを見るととても達成感があります。



佐倉ハーブ園では、年間を通じて、様々な体験イベントを開催しています。2020年度は計4回のイベントを開催しました。



JR佐倉駅の美化活動に協力しています。2020年度は、春には西洋ニンジンボクとサルビアレウカンサを、秋にはガーデンシクラメンを植えました。



2020年度は2件の植樹が行われました。

6月に、一般社団法人日本カシス協会様が来園され、寄贈いただいたカシスの苗木を植樹しました（写真左）。

7月には、NPOバラ文化研究所の理事長 前原克彦様が来園され、当社会長 立崎貴子とともにバラを植樹しました（写真右）。

どちらの植物も、心を込めて大切に育てて参ります。



環境への取り組み



エコアクション21 (EA21)



®環境省

エコアクション21
認証番号 0003872

常磐植物化学研究所は、環境経営を実践するために、環境省が策定したガイドラインである“エコアクション21 (EA21) 認証登録制度”に登録し、自らの環境への取り組みを推進しています。またEA21に参加する事で、地域環境の取組みも積極的に行っています。

EA21とは、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的・効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、活動し、継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドラインです。

EA21ガイドラインに基づき、取り組みを行う事業者を審査し、認証・登録する制度がEA21認証・登録制度です。

環境経営方針

1. 環境経営体制の強化

環境改善を継続的かつ発展的に行っていく為の経営管理サイクルを強化します。

2. カーボンニュートラルを目標に、省エネルギーおよびCO2排出量削減の推進

エネルギー効率を高め、環境にやさしい事業活動に取り組みます。

3. 循環経済 (Circular Economy) の実現に向け、3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進

廃水、廃棄物及び食品廃棄物の低減、化学物質使用量削減、有効資源の再使用、紙、ダンボール、金属及び食品等の再資源化を積極的に実施します。グリーン購入の推進に努め、食品製造工程の改善により、原材料ロスを削減します。

4. 環境関連法規の遵守

環境法規を遵守し、国や地方の行政方針に従います。

5. 環境方針の周知と教育の推進

地球環境と共栄していくため、社員一人一人の環境保全の意識を高めます。また、薬用植物の栽培や次世代への教育を推進し、薬用植物の保全に貢献します。

6. 地域の人々との共生

地域社会の一員として、地域の人々の安全と環境保全に努めます。

制定年月日：2021年4月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

EA21 登録事業所の概要



● 事業者名及び代表者名

株式会社 常磐植物化学研究所
代表取締役社長 立崎 仁

● 所在地

本社・工場：千葉県佐倉市木野子158番地
<https://www.tokiwaph.co.jp/>
東京支社：東京都中央区日本橋本町4-4-16 日本橋内山ビル6F

● 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 生産本部 製造部 部長：鈴木 和浩
担当者 EA21事務局：内山 晋司
TEL 043-498-0007

● 事業内容（認証・登録の範囲）

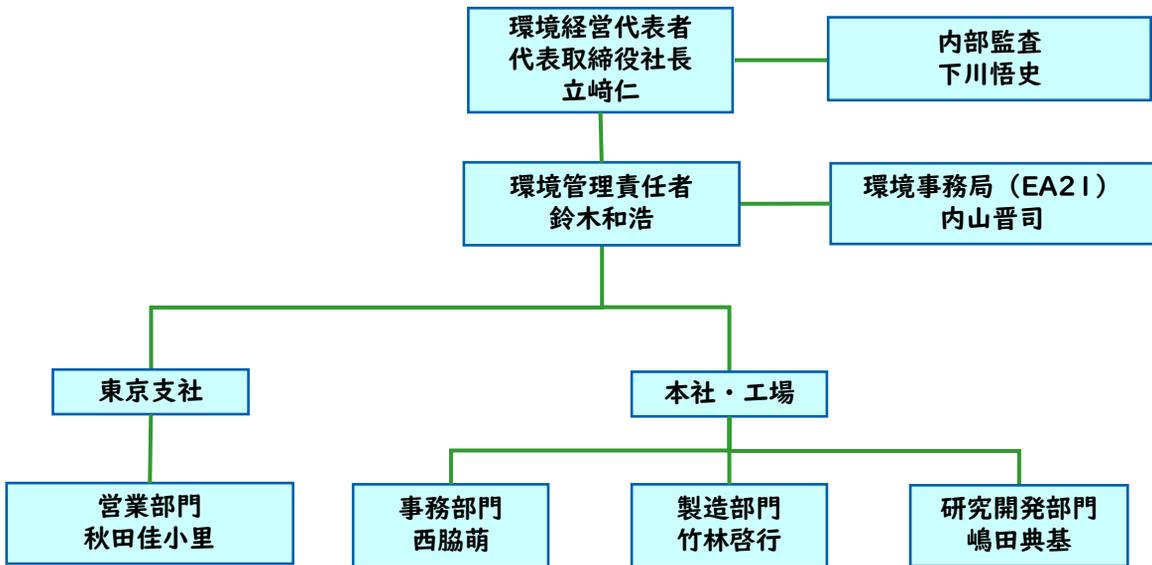
認証・登録番号：0003872
認証・登録年月日：2009/07/13
認証・登録事業者名：株式会社常磐植物化学研究所
対象事業所名：本社・工場、東京支社
所在地：千葉県佐倉市木野子158番地
事業活動内容：医薬品原薬、化粧品原料、
機能性食品原料及び食品添加物の製造・販売

● 事業規模

資本金 7,750万円
主要製品生産量 164 t/年
従業員 本社・工場 109名
東京支社 9名 (2021年4月1日現在)
工場延べ床面積 本社・工場 8,143㎡
東京支社 138㎡



● 環境経営システム組織図



● 役割・責任・権限

環境経営代表者	環境経営に関する統括責任 環境経営方針の策定及び見直しを全従業員に周知 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を用意 環境目標の設定を承認 環境管理責任者の任命 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	環境経営システムを構築、実施し、管理 環境活動実施計画書・記録書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境関連法規一覧の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計
内部監査	内部監査の実施及び内部監査チェックリストの作成 環境経営代表者への内部監査状況の報告及び改善提案
部門責任者	各部門ごとの環境活動実施計画書・記録書を作成 各部門ごとの環境活動実施手順書を作成 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 部門の問題点の発見、是正、予防処置、報告
全従業員	環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 個人行動計画表への記入



● 環境目標及び活動計画

	項目	取り組み内容	評価
本社・工場	二酸化炭素排出量 (電力)の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■各施設・工場での電気消し忘れ防止(チェックシートの作成) ■冷房28℃、暖房22℃以下設定の徹底 ■省エネ機器への更新 	○ ○ ○
	二酸化炭素排出量 (燃料)の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■ボイラー管理 ■蒸気漏れ定期点検及び修繕 ■電動式フォークリフトへの更新 	○ ○ ○
	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■廃棄物量・分別の管理 ■資源ごみ回収量の集計及び金額集計 	○ ○
	産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■産業廃棄物量・分別の管理 ■廃液処理手順の見直し ■ガラス器具破損防止 	○ ○ ○
	水使用量(放流量) の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■工場内の水漏れの定期点検 ■工場用水の使用量の把握と管理 ■工場用水・水漏れ箇所の修繕 	○ ○ ○
	化学物質使用量の 削減	<ul style="list-style-type: none"> ■エタノール回収量の把握と管理 ■エタノール購入量の管理 ■エタノール回収装置の検討 ■クロロホルム・アセトニトリルの使用量確認 ■毒劇物試薬における使用量の管理 	○ ○ ○ ○ ○
	製品についての再 生品の低下	<ul style="list-style-type: none"> ■再生品の把握と管理 ■再生品発生の原因確認 	○ ○
東京支社	環境経営効率の向 上[売上の向上]	<ul style="list-style-type: none"> ■機能性表示食品受理件数の管理 ■国内外の展示会出展 	○ ○
全社	地域清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ■月一回の地域周辺美化活動の実施 	○





● 環境活動計画の目標値、実績及びその評価

項目	目標値と実績値	評価
電力使用量	目標値：2,668,000kWh 実績値：2,650,000kWh	目標達成
総化石燃料使用量	目標値：1,080千L 実績値：863千L	目標達成
二酸化炭素排出量	目標値：3,850,144 CO2kg 実績値：3,130,316 CO2kg	目標達成
一般廃棄物量	目標値：38.3トン 実績値：35.4トン	目標達成
食品・産業廃棄物量	目標値：286.1トン 実績値：96.0トン	目標達成
化学物質使用量	目標値：532千L 実績値：732千L	目標未達成
総排水量	目標値：75,425 ^m ₃ 実績値：94,669 ^m ₃	目標未達成

※電力の二酸化炭素排出係数は4～11月は東京電力2020年の値 0.442 kg-CO₂/kWhを使用、11月以降はシナジアパワー2020年の値0.473kg-CO₂/kWhを使用する。

※再生利用等実施率の実績値に関する「内訳」：

①発生量 370.2 t ②発生抑制の実施量 382.6 t ③再生利用量 366.0 t ④熱回収実施量 0.0 t
⑤廃棄物の減少実施量 0.0 t ⑥再生利用以外の実施量 0.0 t ⑦廃棄物処分実施量 4.2 t

食品循環資源の再生利用実施率(%) = $\frac{((②+③+④) \times 0.95 + ⑤)}{(①+②)} \times 100$
= 99.4%



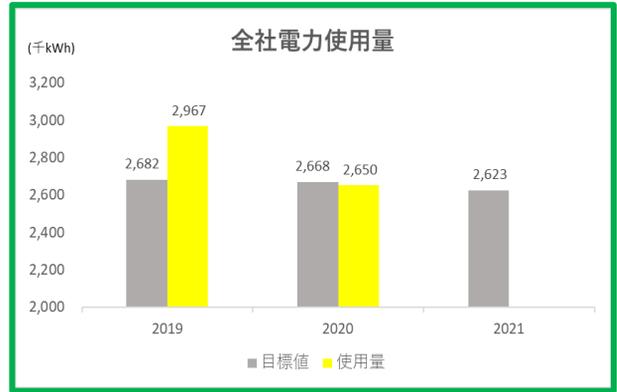
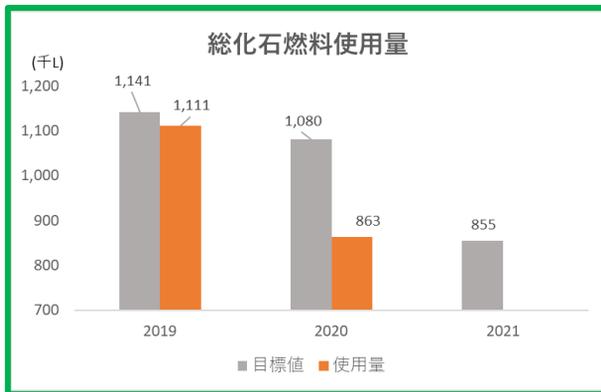
ベねたむ®





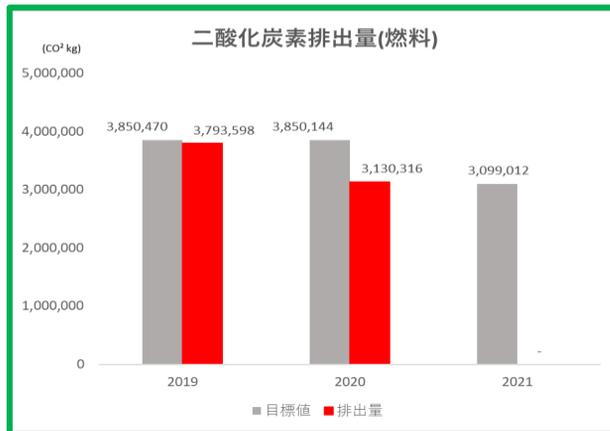
● 2020年度環境実績及び次年度目標（全社総合データ）

2020年度目標達成項目



コメント
2019年度から2020年度に渡り、工場を1棟撤廃。また、蒸気使用量の管理体制の強化を図り、47か所の蒸気漏れの修繕ができた。その結果化石燃料の削減に繋げることができた。2021年度からも本管理体制を強化していく。

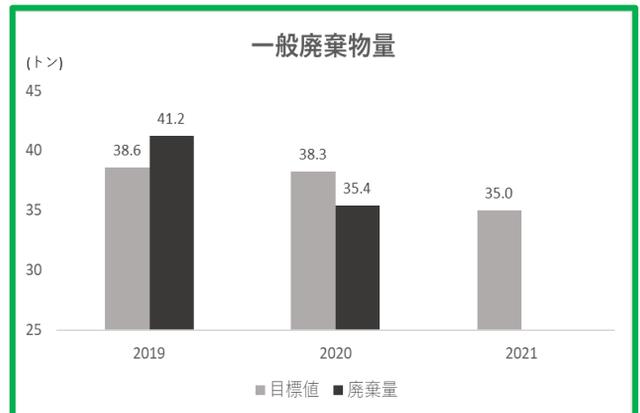
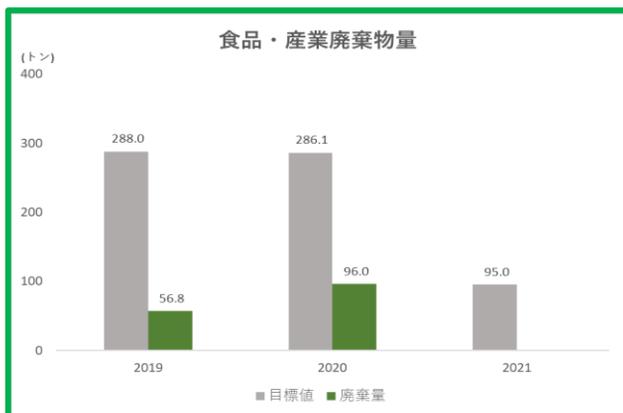
コメント
2020年度から原料保管用の冷蔵・冷凍コンテナ使用見直しを行った。生産スケジュールに合わせた原料納入を行うことで、冷凍コンテナの長期使用が抑えられ、節電ができた。2021年度にも継続してコンテナの使用法見直しを行うため、さらなる節電を目指す。



換算係数
ガソリン：2.32kg-CO₂/L
軽油：2.58kg-CO₂/L
灯油：2.49kg-CO₂/L
都市ガス：2.24kg-CO₂/Nm³

換算係数
4～11月：0.442kg-CO₂/kWh
11月以降：0.473kg-CO₂/kWh

コメント
二酸化炭素排出量は総化石燃料使用量・電力使用量の合算値に換算係数を用いることにより算出する。2020年度は上記2項目の削減ができたことにより、二酸化炭素の排出も抑えることができた。今後も二酸化炭素排出削減のための工夫を継続してだけでなく、カーボンニュートルに向けた二酸化炭素の「吸収」にも取り組んでいき、事業所の緑化や自然エネルギーの活用（太陽光発電システムの導入）などを2021年度に行う予定である。



コメント
2019年度、2020年度共に設定目標を下回る結果となったため、今年度より前年度廃棄量から1%削減することを目標とする。また、食品ロス低減を目指すため、食品コンポストに取り組む。

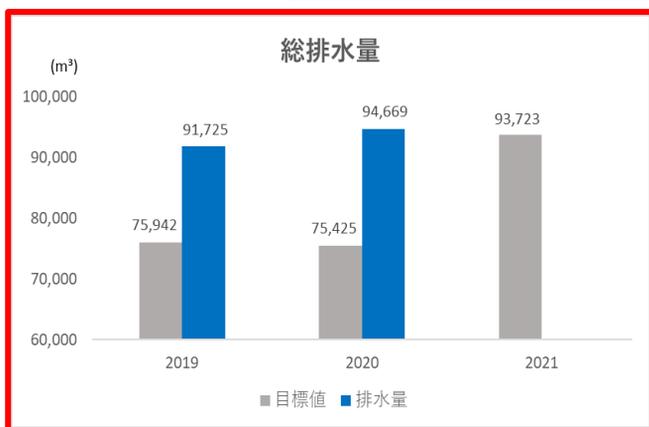
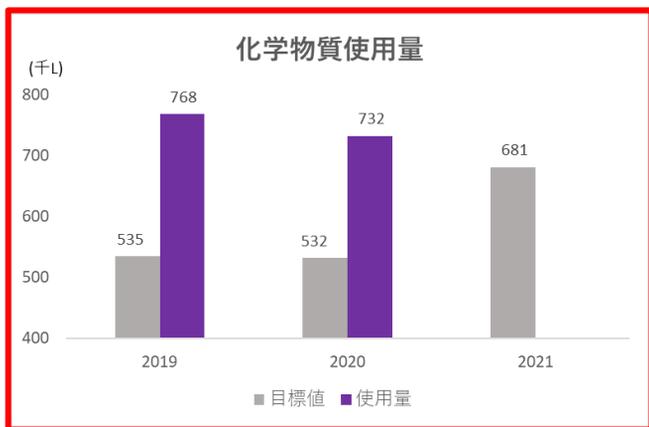
コメント
2020年度より、ペーパーレス化の推進に取り組んだことにより、前年度より約14%の削減に成功した。引き続き紙資源のムダを省き、2021年度には35トン以下を目指す。

EA2 | 環境活動の取組計画と評価



● 2020年度環境実績及び次年度目標（全社総合データ）

2020年度目標未達成項目



コメント
有機溶媒で抽出する原材料が増加し、化学物質使用量の増加につながった。本項目に関しては目標設定の見積もりが甘く、現実的に達成できる値ではなかったため、2021年度は2020年度実績より7%超削減という目標を設定する。取り組みとしては抽出残渣乾燥機を用いて有機溶媒の再利用を行い、新規使用量削減につなげる。

コメント
年々生產品目数が増加しており、抽出の際に使用される水の量も増加傾向にある。事務部門や研究部門での節水を徹底しつつ、2021年度は2020年度実績より1%削減を目標とする。

EA2 | 環境活動の取組計画



● 2021年度 取り組み予定

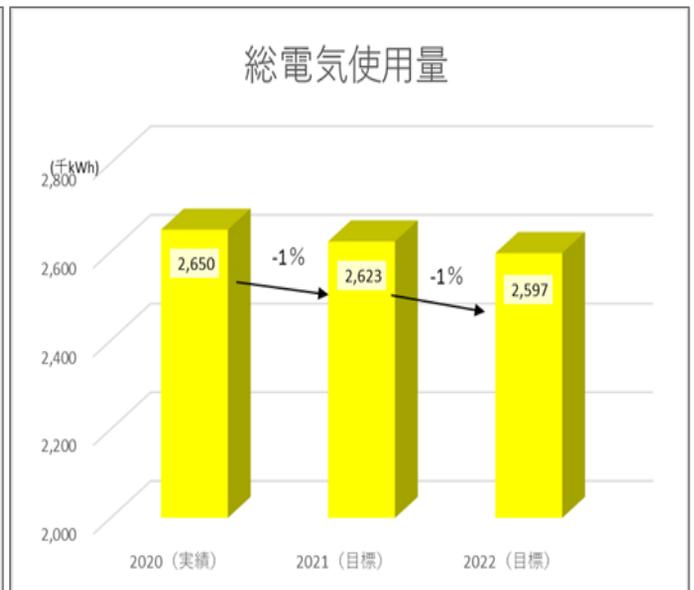
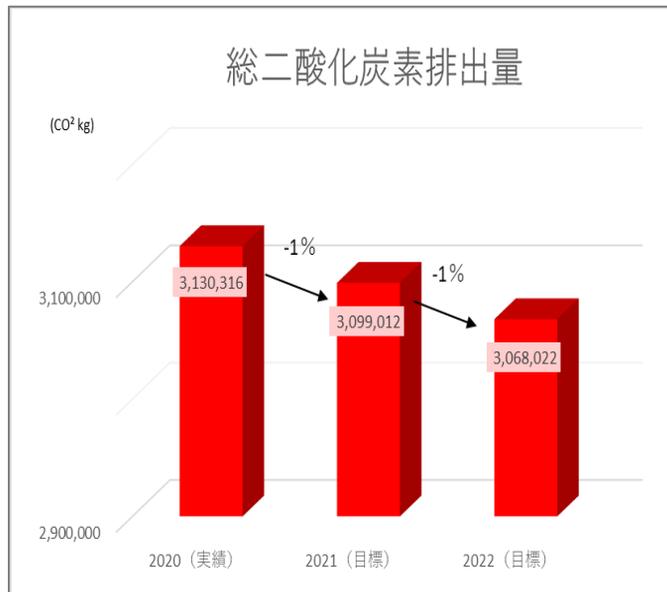
	項目	取り組み内容
本社・工場	二酸化炭素排出量（電力）の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■各施設・工場での電気消し忘れ防止(チェックシートの作成) ■冷房28℃、暖房22℃以下設定の徹底 ■太陽光パネルの導入
	二酸化炭素排出量（燃料）の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■ボイラー管理 ■蒸気漏れ定期点検及び修繕 ■電動式フォークリフトへの更新
	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■廃棄物量・分別の管理 ■資源ごみ回収量の集計及び金額集計
	産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■産業廃棄物量・分別の管理 ■ガラス器具破損防止 ■生ごみ処理機使用→社員昼食残飯のたい肥化による食品ロスの削減
	総排水量の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■工場内の水漏れの定期点検 ■工場用水の使用量の把握と管理
	化学物質使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■エタノール回収量の把握と管理 ■エタノール購入量の管理 ■クロロホルム・アセトニトリルの使用量確認 ■毒劇物試薬における使用量の管理 ■抽出残渣乾燥機の導入
	製品についての再生品の低下	<ul style="list-style-type: none"> ■再生品の把握と管理 ■再生品発生の原因確認
東京支社	環境経営効率の向上[売上の向上]	<ul style="list-style-type: none"> ■新規顧客開拓 ■国内の展示会出展・ウェビナー実施
全社	地域清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ■月一回の地域周辺美化活動の実施



● 中期目標（2020～2022）

政府の発令したカーボンニュートラルの目標や、2019年度後半から続くCOVID-19の影響による複数項目の値の変化を受け、2021年度より前年度の実績を基に1%以上改善することを目標とした数字を掲げる。

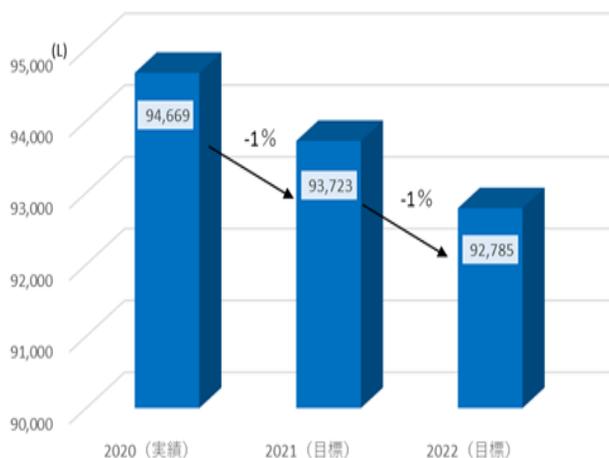
また、データ管理や目標・実績比較をより明確にし、結果に至った原因の追究と改善への取り組みの強化を目標とする。



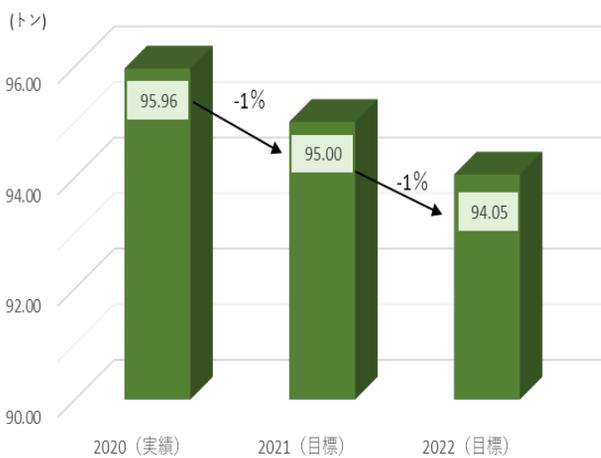


● 中期目標（2020～2022）

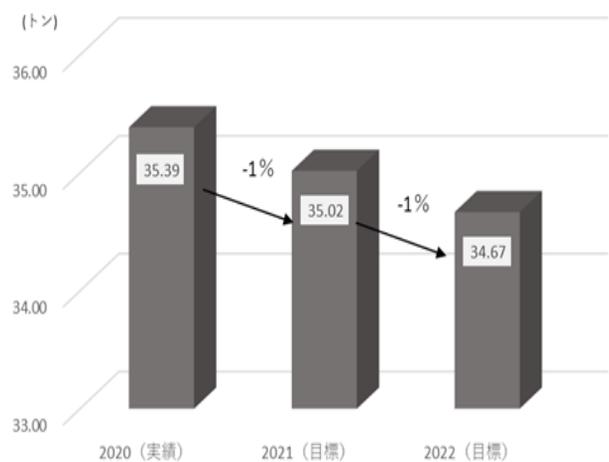
排水量



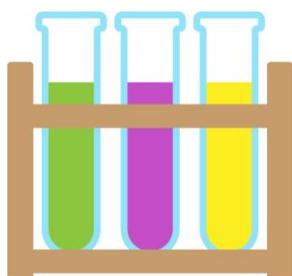
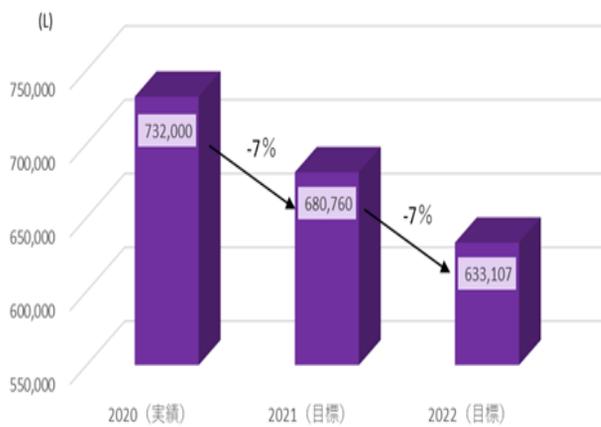
食品・産業廃棄物量



一般廃棄物量



化学物質使用量



ベねたむ®



● 環境関連法規制等の遵守状況

適用法令等の遵守状況

違反、訴訟等の有無：下記のように環境関連法規制等の違反はありません。

また食品リサイクル法における再生利用等の実施率は80%以上を維持できています。
なお関係当局からの違反等の指摘は、過去10年間ありません。

設備・項目	環境関連法規	届出	定期報告	定期点検	その他
全事業所	温対法		○		
	下水道法		○	○	
	省エネ法	○	○		
本社・工場	工場立地法	○			
	労働安全衛生法			○	健康診断
工場設備	振動規制法	○		○	
	騒音規制法	○		○	
工場、蒸留塔、地下タンク等	消防法	○		○	
ボイラー等	大気汚染防止法	○		○	
スプレー乾燥機、残渣乾燥機	悪臭防止法	○		○	
浄化槽	浄化槽法	○		○	
工業用井戸	工業用水法		○		許可有
高圧ポンベ等	高圧ガス保安法			○	
冷蔵、冷凍コンテナ等	フロン排出抑制法				該当機器の調査・点検
対象家電機器	家電リサイクル法			○	
食品廃棄物	食品リサイクル法		○		
自動車	自動車リサイクル法			○	
堆肥場	肥料取締法	○		○	
一般廃棄物及び産業廃棄物	廃棄物処理法		○		マニフェスト管理

● 代表者による評価と見直し

総括

2020年度は、ボイラーの全設備更新と蒸気配管の一部改修による投資効果が現れ、総化石燃料使用量を大幅に削減できた。また、廃棄物（食品・産業・一般）を削減できたことは評価できる。一方、生産増大に伴うエタノールと水の使用量増加に関しては、課題認識を高め次年度改善していく。

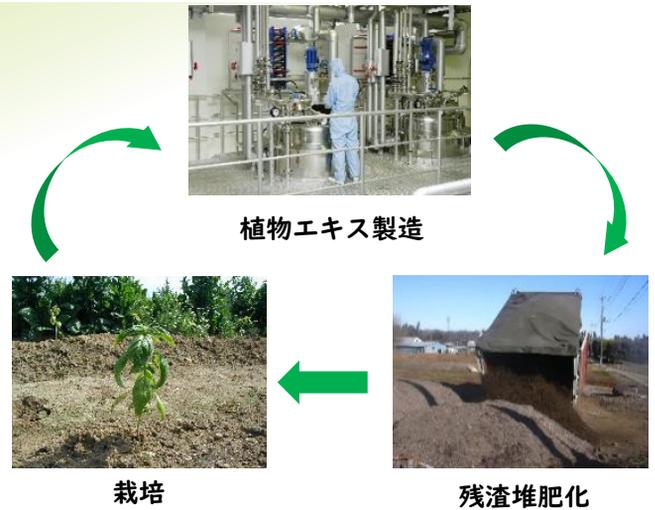
今後、COVID-19の影響の改善は予測されるが、引き続きテレワーク等の働き方改革を推奨し、電気使用量や二酸化炭素排出量等の減少に努めていく。政府発令の2050年のカーボンニュートラルの目標達成に向け、温暖化ガス削減に向け継続的に投資を実行していく方針。2021年度は、工場屋根に太陽光パネルを設置することで、総電力使用量の7%強を自然エネルギーに代替し、さらには残渣乾燥機を導入することにより化学物質の再利用化も図っていく。



【ゼロエミッション活動】

植物資源を無駄なく使用し、廃棄するものを少なくすることにより、環境への負荷を軽減します。

植物エキスの製造後に排出される搾りかす、及び排水処理場の余剰汚泥を肥料へリサイクルするなどの取り組みを行っています。リサイクルされた肥料は作物の栽培に利用され、新たな植物資源を生み出しています。



抽出残渣乾燥機

【抽出残渣乾燥機導入】

残渣に残っている抽出溶媒(有機溶媒)を乾燥工程で回収し、回収した溶媒を再精製し、再利用できる状態にします。これにより、化学物質の使用量を抑えております。

【水質に配慮した生産活動】

工場での水資源の無駄づかいをなくすための改善を積み重ねるとともに、使用後の排水をきれいにして自然に還すために水質保全に取り組んでいます。工場に併設されている排水処理設備においては、「活性汚泥処理法」を採用しています。微生物が排水の汚れである栄養成分を食べることにより、汚れを取り除いています。

【食品ロス低減に向け生ごみ処理機活用】



屋内生ごみ処理機



自社ハーブ園の土

昼食時の食べ残しを微生物の力でたい肥化し、食品ロスの低減に努めています。出来たたい肥は、自社ハーブ園で新たな植物を育てるために使用されています。



【周辺地域美化活動】 月1回開催！

月に一回の頻度で、千葉本社敷地に面している道路脇のゴミ拾いとあいさつ運動を行っております。近隣の皆様が気持ちよく一日をスタートできるように、これからも美化活動に努めて参ります。



【グリーン調達・グリーン購入】

グリーン調達とは、原材料・資材・設備などの購入に際し、有害物質を含まない、資源が有効に活用されている、など環境に配慮した物品・サービスを優先的に選択することです。持続可能な社会の構築のために、使用する物品について、環境負荷ができるだけ小さい原材料・資材・設備等の購入をめざします。

【マイ箸・マイコップの使用】

昼食時にはマイ箸・マイコップを使用しています。割り箸・紙コップの使用が当たり前だった以前に比べ、エコ意識が高まっていることを実感しています。



健康経営への取り組み



当社は、創業100周年に“世界の植物化学企業”となることを目標に掲げています。その目標は、サステナブルな従業員なしには到達できないものです。当社では、従業員の健康を第一に考えた健康経営を推進しています。

健康経営宣言

制定年月日：2021年2月1日

常磐植物化学研究所は、「社員の幸福と社会の発展に貢献する」ことを経営理念に掲げており、社員の健康こそが社員の幸福と全事業におけるサステナビリティ活動の根幹であると考えます。そして、「風邪を引かない」ことが、健康に、いつまでも若々しく生きるための秘訣であると考えます。そこで、独自の健康経営として、「風邪さよなら運動 7カ条」を実施し、社員の健康増進に努めます。

<風邪さよなら運動 7カ条>

1. 感謝と笑顔と元気を大切にしよう！

植物、人、社会に生かされていることに心から感謝し、表現し、行動する。
そして、植物、人、社会を笑顔に、元気づけ、自らが笑顔に、元気になる。

2. 健康な生活スタイルをつくろう！

【身体の健康】

一日3食、栄養バランスの取れた食事を考え、健康な身体づくりに心がける。
社員に栄養バランスの取れた昼食と、よく噛んで食べられる「ゆとりのある食事環境」を提供する。

【心の健康】

働きやすい職場環境を提供し、ストレスなく、よく眠れる「ゆとりのある心」を持てるよう支援する。

3. 適度に運動しよう！

社員一人一人がライフスタイルに見合う運動を心がける。
ラジオ体操、ウォーキング表彰、バランスボールの支給など、社員の求める運動の補助、支援を行う。

4. tokiwaの健康経営サプリメント™で健康になろう！

バランスのよい食事に加え、常磐植物化学研究所が長年培ってきたファイトケミカルの機能性研究・全社員の衆知を結集し、「身体の健康」と「心の健康」を考えた、社員のためのtokiwaオリジナル処方健康経営サプリメント™を提供する。

5. 健康維持に必要な職場環境を整えよう！

社員に「風邪を引かない」職場環境を提供する。可能な限りの風邪予防対策を施した労働環境を整える。
風邪予兆の段階で社員に有給休暇取得を奨励する。

6. 健康になるための知識を普及・啓蒙しよう！

栄養、運動など、健康に関する様々な知識や情報を取得できるような教育、衛生管理教育（HACCP、GMP等）の機会を社員と社会に提供し、普及・啓蒙する。

7. 社員の健康管理をサポートしよう！

受診が義務化されている健康診断に加え、35歳以上の社員には人間ドックの受診環境を整え、健康状態を把握し、社員の健康を支援する。

健康経営サプリメント™の導入

当社の事業を活かした健康経営への取り組みの一つとして、“健康経営サプリメント™”を導入しました。健康経営サプリメント™は、社員の衆知を結集し、創業から70年以上にわたり研究し続けてきたエビデンス豊富な当社の植物エキスをふんだんに配合した、“社員の、社員による、社員のための”オリジナル処方サプリメントです。健康経営サプリメント™は、福利厚生の一環として無料で提供しています。社員の健康に寄与することはもちろん、社員が自社の製品について知るきっかけにもなっています。



健康な職場づくり宣言

健康保険組合を通じて「健康な職場づくり宣言書」を提出し、当社の健康経営への取り組みが認められ、認定証をいただきました。健康な職場づくり宣言書は、事業者が従業員の健康のために取り組む内容を宣言するもので、この宣言に伴い、当社は社内を全面禁煙としました。認定証とともに血圧計も贈呈いただいたので、早速設置し、従業員の皆さんが自由に活用できるような環境をつくりました。



新型コロナウイルス感染予防対策

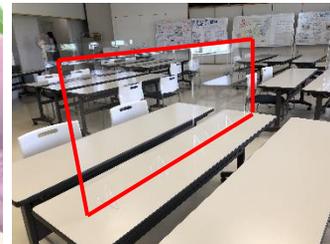
当社は、会社における新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しています。

<取り組み例>

- ・全従業員を対象にPCR検査を実施。
→実施時点（2021年3月末）で「実施者全員・低リスク」
- ・食堂、応接室、事務所におけるパーティションおよび高性能空気清浄機の設置
- ・入社時の体温測定・消毒の徹底



▲ 体温測定 ▲



▲ 赤枠部分に ▲
パーティション設置

がん対策推進企業アクション

当社は“がん対策推進企業アクション”の推進パートナーに登録しています。がん対策推進企業アクションの役割は、職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成することです。当社では、社内向けにがんに関する情報発信を行っています。



働きやすい環境づくり



当社は、一人ひとりがやりがいと誇りを持って働くことができるよう取り組んでいます。

ワークライフバランス



長時間労働の削減、休暇の取得促進、様々な働き方を通じて従業員の健康を守り、仕事とプライベートの調和のとれたワークライフバランスを推進しています。

● 残業時間の削減

業務の効率化を図り、残業時間の削減に向けて取り組んでいます。また、月2回のノー残業デーを設定しています。

平均残業時間（総合職）



月25時間

（2020年度実績）

● 有給休暇取得促進

1日、半日単位その他、朝または夕方における2時間単位での有給休暇付与制度を導入し、取得率向上につなげています。また、年に一度、有給休暇に合わせて食事券を付与する『ハッピーファミリーデー』の取り組みも、2009年より継続しています。

平均有給取得日数



9.8日

（2020年度実績）

● 様々な働き方

在宅勤務や時差出勤制度を導入し、生活環境に合わせた働き方が選べるようにしています。

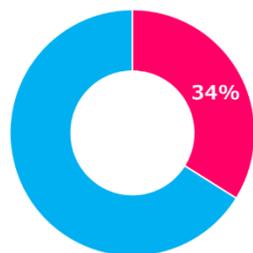
2021年1月には、“テレワーク東京ルール” 実践企業宣言に申請・登録し、独自のテレワークのルールを策定し、実践しています。

女性の活躍支援



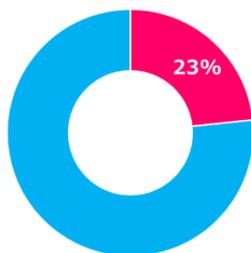
女性の活躍支援に取り組んでいます。新任管理職への研修などを実施。女性がこれまで以上に活躍できる職場環境づくりを展開しています。また、お子様の成長に合わせて、柔軟に時短勤務制度を取り入れています。

● 女性従業員・女性管理職比率



■ 男性 ■ 女性

女性従業員比率
(2021年3月末現在)



■ 男性 ■ 女性

女性管理職比率
(2021年3月末現在)

● 育児休業制度・ 育児短時間勤務利用者数

年度	2018	2019	2020
育児休業制度利用者数（人）	2	3	1
育児短時間勤務利用者数（人）	1	3	3

キャリア支援



OJTを通じ自立型人材を育成します。

全ての社員に成長する機会を与えられるよう階層別、テーマ別研修を設けています。

最近では、管理職のヒューマンスキルを高める研修や新人・若手社員の早期戦力化に向けた研修に力を入れています。

一ヶ月の勤務時間のうち8時間以上を学習時間と設定し、個人の能力アップにつながる学習を推進しています（例：外部セミナー受講、資格取得に向けた勉強など）。

経営理念研修



三方よしビジネスサポート研究所の古望高芳先生をお招きし、“経営理念研修”を実施しました。“経営理念研修”とは、当社の経営理念をより深く理解し、企業ビジョン設定・目標達成に向けて何が必要かを考え、経営に実装していくための研修です。この研修の経験を、今後の仕事に活かしていき、創業100周年に“世界の植物化学企業”になれるよう、精進して参ります。



人と人が繋がる職場づくり



会社組織で働く上で重要であるのは、社員がお互いに尊重し合い、認め合うことです。

社員全員が同じ文章を読み、感想を述べ合い、美点重視で意見交換をする、「社内木鶏会」を実施しています。それぞれの考え方を尊重し、認め合うことで、仕事をする環境がより良いものになっています。

社員旅行



7月17日に第58回社員旅行を行いました。

今年は感染予防に配慮し、新人・若手中心の小グループで鴨川シーワールドまで日帰りで行ってきました。

シャチやアシカ、イルカのショーを鑑賞したり、色とりどりの魚が群れて泳ぐ館内を見学したり…

短い時間ではありましたが、部署をこえて親睦を深め、楽しむことができました。



タイムカプセル制作



創業70周年記念行事の一つとして、“タイムカプセル”を制作しました。開封は創業100周年となる、2049年10月8日を予定しています。

自社工場の配管を使用したカプセルは、70周年記念にちなんで、長さ70cmとなっており、中には社員から募集した数々の思い出の品が入っています。

30年後に開封するのが楽しみです。





従業員が安心して働けるよう、健康と安全はすべてに優先し、労災事故件数0（ゼロ）を目標に、安全な職場づくりに取り組んでいます。一人ひとりの安全意識の向上、設備面・作業面のリスク低減に向けた活動を継続しています。

安全衛生スローガン

安全無しに、幸福無し。衛生無しに、幸運無し。

労働安全衛生方針

1. 安全な労働環境をつくります

労働災害があれば、事業が如何に順調であろうと幸福などあり得ません。日々労働環境を見直し、過去の災害を反省し、安全な職場を提供します。

2. 衛生的な労働環境をつくります

衛生的な環境を保つことで、精神衛生、肉体衛生を保つことができ、お客様からの信用・信頼が得られます。幸運をそのように考えます。

3. 教育・訓練を継続的に実施します

安全、衛生の意識向上と職場環境の提供に、継続的な学びと訓練は不可欠です。社員一人一人が学び、意識向上できる環境を提供します。

4. 必要な資格・技能を取得します

労働安全衛生に必要な知識、技能を獲得するために、労働安全衛生に取り組む社員に対し、必要な資格取得を推奨し、取得します。

5. 法令を遵守します

労働安全衛生に係る法令を遵守し、定期的な見直しと改善を実施します。

制定年月日：2021年4月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

労働安全衛生に関わるマネジメント体制

毎月「安全衛生委員会」を開催し、「リスクアセスメント」による潜在的リスクの低減活動を中心に、全員参加の安全衛生活動を推進しています。

労働安全面のさらなる向上に取り組むとともに、メンタルヘルスに重点を置いて衛生・健康面の取り組みを強化しています。

5S活動、安全ルールの遵守、リスクアセスメントの徹底、教育・支援の強化、災害撲滅のPDCAサイクルの確実な実行に努めています。

労働安全・衛生への取り組み

■労働安全教育

外部講師を招いての安全教育（AED使用方法、救命救急講習など）

■リスクアセスメント担当教育

■各工程におけるリスクアセスメント教育

■機械操作によるリスクアセスメント教育

■技能講習・特別教育の受講

■外部講習への参加

自主的な安全衛生管理の向上

■安全衛生基準の設定

■安全衛生委員会会議の実施

■全国安全週間、全国労働衛生週間、 長期連休明け社内独自安全週間の設置

■安全衛生委員の構内巡視と従業員への安全遵守

■フォークリフト特定自主点検の実施

■保護具着用の徹底

■作業手順の周知と遵守



健康の保持促進と快適な職場環境の形成

■ストレスチェックの実施

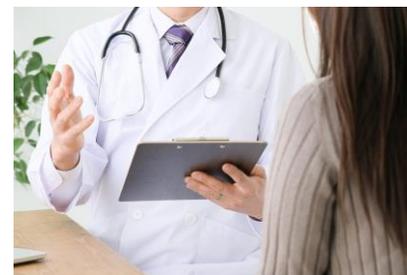
■ノー残業デーの設置

■労働時間管理、長時間労働者の状況確認とヘルスケアサポートの推進

■産業医との健康相談窓口の開設

■5S活動の実施

■熱中症予防対策の実施および熱中症が疑われる場合の迅速な対応



資格取得促進法令遵守

■危険物取り扱いに関する資格取得の奨励

■フォークリフト技能講習



“世界一の植物化学企業”を目指して

tokiwa
PHYTOCHEMICAL



tokiwa
PHYTOCHEMICAL

▼HP▼



▼facebook▼



▼YouTube▼



Sana
自然と美と健康

▼HP▼



▼Instagram▼



べねたむ®

▼Twitter▼



▼Instagram▼



佐倉ハーブ園
sakura herb garden

▼HP▼



▼facebook▼



▼Twitter▼



▼Instagram▼



▼YouTube▼



最後まで読んでくれて
ありがとうたむ！



べねたむ®

株式会社 常磐植物化学研究所

本社・工場 〒285-0801 千葉県佐倉市木野子158番地
東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-16

TEL : 043-498-0007 FAX : 043-498-0561
TEL : 03-5200-1251 FAX : 03-5200-1256